

# 東の風



やさしく  
かしこく  
たくましく

No.37

平成29年7月11日(火)

文責：園田

学校教育目標：心豊かに 自ら学び たくましく生きる子どもの育成

## 第30回 がわっば祭

7月8日(土)、『第30回 がわっば祭』が開催され、本校児童も絵画の出展だけでなく、当日のお神輿パレードやがわっば仮装、かっぱ巻きづくり、がわっば相撲等にも多数参加していました。

マスコットキャラクター がわたろうくん



がわっば神輿に鎮座する  
ブロンズ製のがわっば座像。  
1989年(平成元年)から  
使われてるそうです。  
(田平町郷土史より)

「がわっば物語」については、ずっと昔から語り継がれてきたようですが、1988年(昭和63年)たびら史談会、郷土の自然を見直す会、下里区等が世話人となって「がわっば祭り伝承会」が結成され、第1回がわっば祭りが開催されたそうです。(田平町郷土史より)もう30年も続いているんですね。

最近は何の地域においても、子ども会活動での行事や地域で行われる様々な行事に参加しない子どもが増えているようです。個々の考え方であったり、社会体育等のスポーツや各種の習い事などが重なって参加できなかったり、保護者の方の都合がつかなかったりと、その理由は様々でしょう。さみしくもあり、難しくもある問題ですね。

私達も子ども達も、それぞれが自分の家がある地域の中で地域の一員として暮らしています。特に子ども達は地域の中で、様々な体験をしたり、色々な形で地域にお世話になったりしながら生活し成長していきます。故郷の人々や文化や伝統、習慣等と積極的に関わりながら生活していくことは、故郷の人や故郷そのものを愛する心を育むことにも繋がると思います。機会があり、都合がつけば積極的に参加するのはよいことだと思います。



平川橋のそばに立っている、かっぱを封石するためにおかれた大石、「大乗妙典一字一石塔」の前に集合した「カッパ達」。前列の可愛らしい子どものカッパは「仮装コンテスト」の参加者の皆さんです。一番右側が本校の子どもです。

## たくさん参加し、活躍しました。



マナーを守って参加できました。

### がわっば絵画入賞者

- 【1年】 小川花里奈 吉岡瑠綺
- 【2年】 関 鈴葉 濱上結衣
- 【3年】 高田悠朔
- 【4年】 赤木七菜 今里龍弥
- 【5年】 濱崎結衣 島本翼貴
- 【6年】 高田百華 大久保康樹

おめでとう



### がわっば相撲

団体 準優勝  
辻 明宏・大久保康樹・島本翼貴

実は昨年のお祭りでも、お話を聞く態度等があまり良くなかった東っ子。今回は学校でも指導していたので様子を見守っていました。

すると、高学年の子が、下級生に指示をしたり、注意をしたりしてくれる姿が見られ、そのおかげで、場を考え、マナーを意識して参加できていて嬉しく思いました。

また参加されていた保護者の方も自分のお子さんだけでなく、必要に応じて子ども達に声掛けをしてくださる姿もありました。

子ども達は、こうして家庭や学校以外の場において、学校や家族、地域の方々に教えられ、支えられ、見守られながら公共の場でのモラルやマナー、規範意識、そして社会性等を身に付けていきます。

参加した皆さん、お疲れ様でした！



がわっば絵画表彰式



さあ、長〜いかっぱ巻きに挑戦だ！



見にくいですがこれがカッパ巻ですよ。



がわっば相撲も頑張った

